

教員会議(1813)・研究科委員会(521回)議事要録

日 時：平成31年2月13日(水) 13時30分～15時30分
15時50分～16時55分

場 所：人間発達文化学類大会議室

教員会議

【審議事項】

1. 人事について

(1) 教員の昇任について(発議)(資) 投票

学類長から、1月末締切としていた4月1日付け教授昇任枠に対し1名、准教授枠に1名の申請があったので、発議を願いたいとの発言があった。

音楽(声楽)分野

今尾滋教員の教授昇任について、横島教員から資料に基づき説明提案があり、審議の結果、資格調査委員会の設置が承認された。

体育理論・史分野

蓮沼哲哉教員の准教授昇任について、小川教員から資料に基づき説明提案があり、審議の結果、資格調査委員会の設置が承認された。その後、学术论文の「地域創造」について「査読あり」となっているが、今後検討願いたいとの発言があり、議長から資格調査委員会で調査願いたいとの発言があった。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、「音楽(声楽)」分野(今尾教員)は、当該分野あるいは当該関係分野から横島、当該領域から中畑、当該領域以外の領域から中田(文)、白石各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、杉田委員を選出することとなった。「体育理論・史」分野(蓮沼教員)は、当該分野あるいは当該関係分野から小川、当該領域から杉浦、当該領域以外の領域から高田、新井各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、安田委員を選出することとなった。

(2) 准教授の任用について(発議)(資) 投票

教職実践専攻(領域A、県交流人事)

学類長から、県との交流人事で3月までの任期となる秋山教員の後任であるとの発言があった。次いで、今回の人事について報告願いたい旨の発言があり、当該領域の森本教員から、選定の経緯と結果について資料に基づき説明があり、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、当該分野あるいは当該関係分野から秋山、当該領域から森本、当該領域以外の領域から中田(文)、平中各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、谷教員を選出することとなった。

(3) 特任教員の任用について(発議)(資) 投票

教職実践専攻

学類長から、浜島京子教員は本学を退職した新規者であるので、学類の申し合わせにより資格調査委員会を省略することが出来るため、調査委員会は省略することとし、本教員会議において審議・承認の手続きを行いたい旨説明があり、特任教授として採用することの提案があり、承認された。

教職実践専攻(領域A、特別支援教育)

学類長から、今回の人事について報告願いたい旨の発言があり、当該領域の鶴巻教員から、選定の経緯と結果について資料に基づき説明の後、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

教職実践専攻(領域A、社会科教育)

学類長から、今回の人事について報告願いたい旨の発言があり、当該領域の松下教員から、選定の経緯と結果について資料に基づき説明の後、資格調査委員会設置の提案があり、承認された。

なお、投票結果については、教員会議終了時まで集計ができなかったため、結果はメールで各教員へ送り確認願うことで、承認された。

投票の結果、「教職実践専攻(領域A、特別支援教育)」は、当該分野あるいは当該関係分野から鶴巻、当該領域から内田、当該領域以外の領域から高橋(純)、飛田各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、原野教員を選出することとなった。「教職実践専攻(領域A、社会科教育)」は、当該分野あるいは当該関係分野から森本、当該領域から松下、当該領域以外の領域から小野原、小松各委員が選出され、当該学系に所属する学類長の委員選出は、阿内教員を選出することとなった。

(4) 附属特別支援学校長の選出について

学類長から、選考の経過について説明があった後、附属特別支援学校長候補者として新井教員の提案があり、承認された。

(5) 今後の人事計画について

学類長から、教授昇任人事についてはメールで様子等周知していたが、特例の経過について改めて確認願いたい、また、特例の内容は単年度で承認されており、これを解消する必要があるため、次年度の人事計画で検討したいとの説明があり、承認された。

2. 教務委：

(1) 2019年度非常勤講師計画について(資)

牧田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があった。また、新規採用で大学での講義経験のない者について、併せて資料に基づき説明があり、承認された。

(2) 2019年度教員養成実地指導講師計画について(資)

牧田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、一部備考欄(附属中学校から県教育庁へ異動となったため)を削除し、承認された。

3. 将来計画検討委：

(1) 2021年度入試予告について(資)

井實委員長から、標記について資料に基づき一般選抜後期日程の受験区分の変更、個別学力検査等の科目名等及び配点の追加及び学校推薦型選抜の受験区分の内容の変更、また、追跡調査の取扱い、選抜方法での最低点の設定について説明提案があった。次いで、平成31年度の一般入試志願状況について、昨年度の状況との比較及び分析について説明があった。その後 ~ の表記について修正があり、「特別支援・生活科学コース」の教育実習の取扱い、最低点の対象試験の文言、追跡調査の取扱い、実技試験の内容等に意見がだされ、各コースに問い合わせることとなり、継続審議となった。

4. 教員養成カリキュラム委：

(1) 「福島の教員スタンダード学生版」及び「教職履修カルテ」の改訂について(資)

浜島教員から、標記について経緯の説明があり、坂本教員からカルテの内容について資料に基づき説明があった。到達度・達成度の取扱い、指導方法及び幼稚園特有の用語への読み替え等について質問・意見が出され、坂本教員から指摘事項など3月1日まで連絡願いたいとの発言があり、継続審議となった。

【報告事項】

1. 教育研究評議会：第314回(2/5) 資料：「教職員専用総合案内を参照」

(審議事項)

(1) 平成31年度国立大学法人福島大学年度計画について

(2) 基盤教育履修基準表等の改訂について

(報告事項)

(1) 第3期国立大学法人評価「教育研究組織の評価単位」の意向調査について

(2) 教員評価の試行結果について

- (3) 平成31年度予算(案)の伝達等について
- (4) その他
 - 第5回福島大学環境放射能研究所成果報告会について
- 2-1. 運営会議：第120回(1/29) 資料：「教職員専用総合案内を参照」
 - (1) 第3期国立大学法人評価「教育研究の状況評価」(案)について
 - (2) 平成29年度会計検査院の決算検査報告説明会について
 - (3) 平成31年度予算(案)の伝達について
 - (4) その他
 - 12月の電気・ガス・水道の使用量について
- 2-2. 運営会議：第121回(2/12) 資料：「教職員専用総合案内を参照」
 - (1) 1月の電気・ガス・水道の使用量について
- 3. 教務委：
 - (1) 「公欠に関する申し合わせ」の改正について(資)及び(2)「福島大学単位認定規程」の改正について(資)
 - 牧田委員長から、標記について資料に基づき説明報告があった。適用開始時について質問があり、牧田委員長から「公欠申し合わせ」については、新入生及び在学生在が適用し、「単位認定規程」は新入生から適用されるとの回答があった。また、「単位認定規程」第2条第3項の手続き者については、今後確認して回答することとなった。
 - (3) 「卒業研究基礎演習」の遠隔実施について(資)
 - 牧田委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。
- 4. 学生生活委：
 - (1) 平成31年度メンタルヘルスオリエンテーション授業開講日程について(資)
 - 高木委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。
 - (2) 平成31年度学生関係休講措置(予定)について(資)
 - 半沢委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。
 - (3) 平成31年度学習クラスの所属学生数について(資)
 - 半沢委員長から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。
 - (4) 平成30年度学位記授与式の総代について
 - 半沢委員長から、標記についてローテーションに基づき文化探求専攻・言語文化クラスに依頼するとの説明報告があり、了承された。
- 5. 学術振興基金運営委：
 - (1) 学術振興基金事業実施要領の改正内容について(資)
 - 浜島委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。
- 6. 学類長
 - (1) 教員の外国出張について
 - 学類長から、以下について学類人事委員会で承認したとの報告があり、了承された。

外国出張	高橋純一	31.2.16~2.21	ドイツ	科研費
	谷 雅泰	31.2.26~3. 8	デンマーク、ノルウェー	科研費
	高木修一	31.3. 7~3.14	アメリカ	科研費
	小川 宏	31.3.13~3.20	スイス	個人研究費
	菅家礼子	31.3.13~3.20	スイス	個人研究費
 - (2) 共同研究の受入れについて
 - 学類長から、以下について受託研究審査委員会で承認したとの報告があり、了承された。
 - 担当教員：川本和久
 - 相手先：(株)進盟ルーム
 - 事業名：調圧がもたらすスポーツへの影響
 - 事業期間：2019年(平成31年)1月15日~2020年3月31日
 - 事業費：0円、その他：相手先から、機器を無償貸与

(3) 学類人事委員会委員の補欠選挙について

学類長から、標記について、新井委員が平成31年4月から附属特別支援学校長就任のため、残余期間について1名欠員が生ずることとなり、補欠選挙を実施するが、詳細は後日提案するとの発言があった。

研究科委員会

【審議事項】

1. 入試委： 先議

(1) 平成31年度大学院人間発達文化研究科入学試験（第2次学生募集）の合否判定について

(資 - 回収)

佐藤(佐)委員から、標記について「平成31年度大学院人間発達文化研究科入試(2次募集)合否判定の方法について」を読み上げた後、資料に基づき説明提案があり、承認された。

(2) 平成31年度大学院人間発達文化研究科第3次学生募集について(資)

学類長から、前回の研究科委員会で2次入試の結果をみて、3次募集の実施を判断すると発言した。結果、教職実践専攻及び地域文化創造専攻で定員を満たしていない。大学院の定員未充足は大学の課題となっているため、教職実践専攻及び地域文化創造専攻は3次募集をする、具体は入試委員に説明願いたいとの発言があり、佐藤(佐)委員長から第3次学生募集要項について別紙資料に基づき説明提案があり、承認された。

次いで、学類長から、2次募集に向けての様子を知らせてもらったが、その数値から下回っているので、志願の意思を可能な限り確認願いたい。また、学外者も含め関係者に声掛け願いたいとの発言があった。

2. 教務委員会：

(1) 修了研究題目の変更について(資)

牧田委員長から、標記について資料に基づき説明提案があり、承認された。

【報告事項】

1. 学生生活委：

(1) 平成30年度学位記授与式の総代について

半沢委員長から、標記についてローテーションに基づき学校福祉臨床領域に依頼するとの説明報告があり、了承された。

(アナウンス)

スタートアップ・セミナー担当者説明会について(教務委)

標記について、3/5(火)に実施する。学類の説明会も開催したいとのアナウンスがあった。

2019年度開講科目一覧(新カリ用)の校正について(教務委)

標記について、各コース世話人に依頼するので2月末までに教務課に提出願いたいとのアナウンスがあった。

2019年度シラバス作成の注意事項について(教務委)

標記について、全教員にメールで送付するが、全ての科目で新・旧カリのシラバスが必要となるとのアナウンスがあった。

学類WEBサイトの更新について(広報・情報管理委)

標記について、学類WEBサイトを更新したこと及び今後の運用の予定についてアナウンスがあった。

次回の教員会議は3月5日(火)12:30~とした。